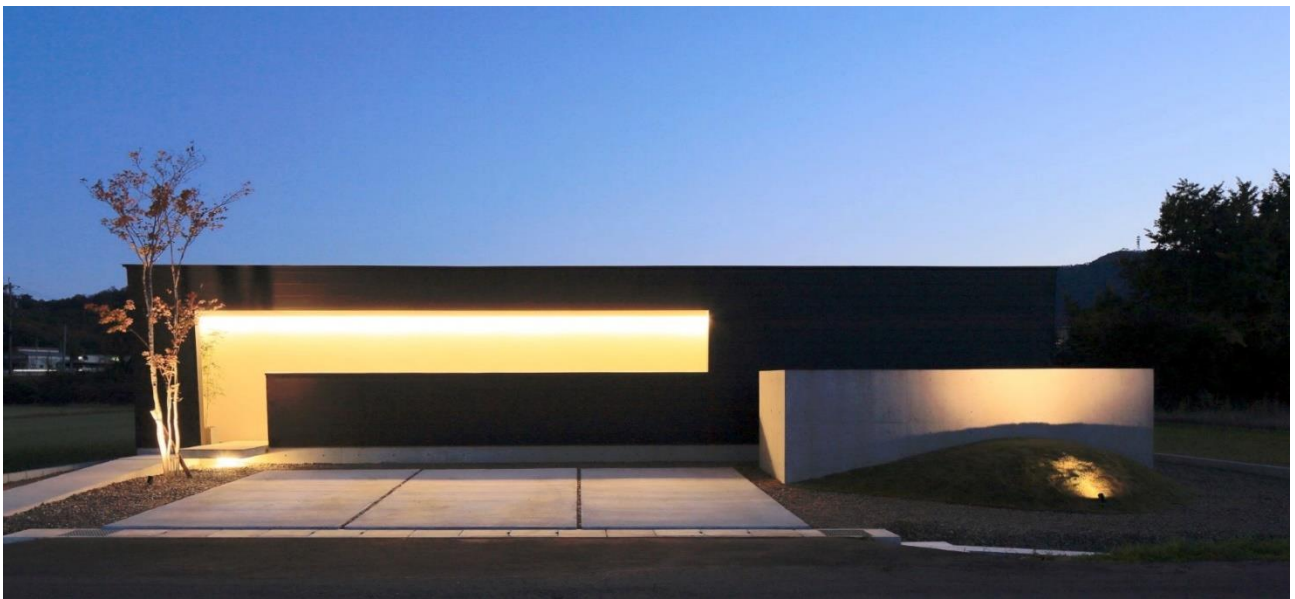


後輩たちへのエール！ その31

2020年5月25日

将来の夢なんてない。って事は、まだ何にでもなれるって事。

◇今回は、山田茂宏さん（一級建築士）によるエールです！



小学5年生の夏休みに家族旅行で北海道へ行った。父がハンドルを握るレンタカーで高速道路を移動中、追い越し車線を真っ黒な車が弾丸のように駆け抜けて、あっという間に見えなくなった。なんだ今のは！？とア然としている私に兄が、「すげえ！ポルシェや！カッコいい！」と叫んだ。あの時の衝撃は今でも忘れない。そして、いつかポルシェに乗りたい！そう心に決めたのです。

私は、関市千疋で株式会社SYNCという設計事務所をやっている、一級建築士の山田茂宏です。いつから建築士になりたかったんですか？と良く聞かれますが、実は成り行きなんです。

先生になりたいと思って受けた、第一志望の教育学部に落ちました。浪人して、みんなから1年遅れるのはイヤだったので、滑り止めで受かっていた、私立の建築学科に行く事にしました。何となく建築士は、格好いいしお金持ちになれそうだなと思っただけの理由です。

私が思うのは、自分に何が向いているかなんて、誰にも分からないという事。限界を決めるのは、自分だという事です。

そして、動機は不純でいい。何をするにしても、結果的に社会の役に立つのだから。

成功者は皆、失敗を恐れずに挑戦しなさいと言います。そうは言っても失敗は怖いし、できればリスクのある挑戦なんてしたくない。

脳科学的には、人は危険回避の為に、リスクや自分の負担になるような事に言い訳をして、できるだけやらないようにする脳の仕組みになっているそうです。

なるほど、だからやりたくない理由が、滝のようにあふれ出るのか。。

「挑戦＝無謀」ではありません。ちゃんと計画をして、イメージして、これなら行ける！と思ってからやるのです。

ただ、一歩踏み出すのには、勘違いが必要です。これ、イケるんじゃないか？と思う事です。

要領のいい私は、入社してすぐに色々と任せてもらえるようになり、自分で全てこなしているかのような勘違いを起こしてしまったのです。これって1人でやっているのと同じじゃん！こんなに働いているのに給料は安い。なのに社長は、憧れのポルシェに乗っている。

ポルシェに乗りたいなら、社長になるしかない！

私は、設計事務所で6年間の修行を経て、友人が住宅設計の依頼をしてくれた事をきっかけに、28歳で独立しました。

先生（教員）にはなれませんでした。工事現場では、先生と呼ばれます。そして私は今、ポルシェに乗っています。



株式会社SYNC
代表取締役 山田 茂宏

SYNC www.i-sync-so.jp
E-mail yamada@i-sync-so.jp
instagram @syncsogood

事務所と併設してカフェも経営しています。
SOGOOD <http://www.sogd.jp>